

平成 22 年度 行政評価の実施結果  
(公共施設の管理運営)  
《別冊-施設ごとの個票》

平成 23 年 3 月  
浜田市



行政評価票(施設の管理運営)

整理番号

96

施設名:	旭温泉あさひ荘	担当課:	産業経済	旭産業課
所在地:	浜田市旭町木田954番地3	管理形態:	直営	S52~H21
目的:	旭温泉を活用し市民の福祉の向上・健康の増進及び大衆浴場としての利用を図る。			
設置条例:	旭温泉あさひ荘条例	老人福祉法第15条第5項	建築年度:	S52

I 施設の基本的事項

事業内容:	入浴客の入浴利用対応及び金銭授受。入浴客の休憩対応及び金銭授受 あさひ荘の日常清掃、週1回浴槽・浴室清掃 1ヶ月ごとの売上精算			
施設区分:	公衆浴場			
施設内容:	【構造・階】鉄筋コンクリート造2階建階、【敷地面積】3578㎡、【延床面積】750.50㎡、【土地所有者】市 ①事務室(15.60㎡/1室)②客室(12㎡/5室)③大広間(45㎡/1室)④厨房(72㎡/1室)⑤風呂(男55㎡女38.7㎡/各1室) ⑥食堂(68㎡1室)⑦機械室(30㎡/1室)			
利用対象者:	市民及び大衆浴場利用者	60,180 人	利用者H17:	15,159
料金体系等:	入浴料:大人300円(回数券11枚3,000円)、小中学生150円(回数券11枚1,500円) 使用料:4時間まで900円(1時間超過ごとに200円) 使用料+休憩料1人当り200円		利用者H18:	14,696
施設職員 (人)	常勤 0 人 嘱・パート: 3 人 (うち市職員) 正規: 0 嘱: 2 臨: 0 パ: 1		利用者H19:	16,195
代替・類似 施設の有無	民間3施設(しろつづの荘・ホテル川隅・かくれの里ゆかり)があり、宿泊・日帰り入浴が出来る。			
利用者H20:	18,712	利用者H21:	21,573	

II 事業コスト、事業成果 注:

単位:千円	H19	H20	H21	(収入) 施設運営に係る経費(人件費を含む)を誰が負担しているか	建設費用(千円)	
利用料等	5,517	6,325	7,078	利用料等…施設利用者 指定管理料…浜田市 市補助金/委託金…浜田市 その他…国県	合計	105,601
指定管理料	0	0	0		一般財源:	19,681
市補助金	0	0	0		国県支出金:	13,460
市委託金	0	0	0		起債:	59,000
その他	0	0	0		その他:	13,460
収入合計	5,517	6,325	7,078		H21利用度(利用者/対象者)	0.36 回
光熱水費	5,328	5,834	4,962	(支出) 施設を運営するには、どのような経費(人件費を含む)がかかるのか。	H21受益者負担率 (利用料等/支出合計)	58.4 %
委託費	607	753	552			
人件費	4,758	4,742	4,809			
その他	1,304	2,792	1,807			
支出合計	11,997	14,121	12,130			

大規模修繕: H22~H27		改修: H22~H27	H26旭温泉再整備事業に改修予定
施設設置 の効果			

III 事業評価(一次評価・担当課による自己評価)(総合評価・行政評価委員会)

必要性:	施設の設置目的や社会的ニーズが時代に合致している。 収益事業(法人税法施行令第5条1項)を主たる業務としていない。 市内に民間を含め、類似施設がない。 会館、宿泊施設、会議場、健康増進施設、総合保養施設その他これらに準ずる施設ではない。
効率性:	1 利用者が増加している。 収支バランスや「負担の公平性」の観点から、適切な受益者負担(使用料等)が設定されている。 現状の施設運営が、市民サービス・事務処理・コスト(人件費等)の点から最も効率的である。
一次評価:	存続 旭温泉再整備事業まで継続
総合評価:	存続 ・地域住民を中心とした入浴保養施設として公益性が認められる。 ・しかしながら、毎年度、多額の市費負担が問題。旭温泉再整備計画にあわせて、入浴料の値上げや運営経費抑制など、経常的な公費負担がなくなるよう経営の抜本的な見直しが必要

# 行政評価票(施設の管理運営)

整理番号

97

施設名:	簡易宿泊所あさひ荘別館	担当課:	産業経済 旭産業課
所在地:	浜田市旭町木田954番地3	管理形態:	直営 S52~H21
目的:	旭温泉を活用し低廉な料金で宿泊させることにより市民の福祉の向上及び健康の増進を図る		
設置条例:	簡易宿泊所条例	自治法第244条の2第1項	建築年度: S52

## I 施設の基本的事項

事業内容:	現在では、宿泊は行っていない。 年間を通じて、休憩所、旭温泉まつり、旭温泉湯ったり神楽等に主に使用している。		
施設区分:	宿泊レクリエーション施設		
施設内容:	【構造・階】木造瓦葺平屋建、【敷地面積】3,578㎡(あさひ荘と同一敷地)、【延床面積】171㎡、【土地所有者】市 ①広間(35㎡/2室)②小部屋(12㎡/1室)③台所(11㎡/1室)④便所(12㎡・2㎡/各1室)		
利用対象者:	市民及び大衆浴場利用客	60,180 人	利用者H17: 0
料金体系等:	休憩料(大人200円小人100円) 休憩料17畳3,600円(4時間までとし、1時間超過ごと300円加算) 35畳6,700円(4時間までとし、1時間超過ごと600円加算)		利用者H18: 0 利用者H19: 36
施設職員(人)	常勤 0 人 嘱・パート: 3 人 (うち市職員) 正規: 0 嘱: 2 臨: 1		利用者H20: 45 利用者H21: 53
代替・類似施設の有無			

## II 事業コスト、事業成果 注: 嘱託パート3人分の人件費はあさひ荘と兼務として按分

単位:千円	H19	H20	H21	(収入) 施設運営に係る経費(人件費を含む)を誰が負担しているか	建設費用(千円)
利用料等	13	15	31	利用料等…施設利用者 指定管理料…浜田市 市補助金/委託金…浜田市 その他…国県	合計 13,800
指定管理料	0	0	0		一般財源: 13,800
市補助金	0	0	0		国県支出金: 0
市委託金	0	0	0		起債: 0
その他	0	0	0		その他: 0
収入合計	13	15	31		H21利用度(利用者/対象者) 0.00 回
光熱水費	159	153	155	(支出) 施設を運営するには、どのような経費(人件費を含む)がかかるのか。	H21受益者負担率 (利用料等/支出合計) 8.0 %
委託費	106	106	106		
人件費	98	98	99		
その他	5	6	26		
支出合計	368	363	386		

大規模修繕: H22~H27 改修: H22~H27 H26旭温泉再整備事業に伴い改修予定

施設設置の効果

## III 事業評価(一次評価・担当課による自己評価)(総合評価・行政評価委員会)

必要性:	施設の設置目的や社会的ニーズが時代に合致している。 収益事業(法人税法施行令第5条1項)を主たる業務としていない。 市内に民間を含め、類似施設がない。 会館、宿泊施設、会議場、健康増進施設、総合保養施設その他これらに準ずる施設ではない。
効率性:	利用者が増加している。 収支バランスや「負担の公平性」の観点から、適切な受益者負担(使用料等)が設定されている。 1 現状の施設運営が、市民サービス・事務処理・コスト(人件費等)の点から最も効率的である。
一次評価:	<b>存続</b> 旭温泉再整備事業に伴い改修し存続する。
総合評価:	<b>廃止</b> ・利用者が少なく、簡易宿泊所としての利用実績もない。現状の地元中心の利用実態等からは、公設の意義は見出し難い。 ・旭温泉再整備計画にあわせ、廃止を前提に、あり方を検討すべき。

# 行政評価票(施設の管理運営)

整理番号

101

施設名:	浜田市都川交流促進施設	担当課:	産業経済 旭産業課
所在地:	浜田市旭町都川920番地	管理形態:	指定管理者(指名) H21年度~H23年度
目的:	市民の交流活動及び休養、健康増進を図る		
設置条例:	都川交流促進施設条例	自治法第244条の2第1項	建築年度: H8

## I 施設の基本的事項

事業内容:	簡易宿泊施設				
施設区分:	宿泊レクリエーション施設	多目的広場			
施設内容:	【構造・階】木造平屋建 2棟、【敷地面積】2,896㎡、【延床面積】146.81.00㎡(タイプⅠ57.45㎡、タイプⅡ44.68㎡)、【土地①和室(25.6㎡/2室)②台所(9.00㎡/2室)				
利用対象者:	市内外問わず	60,180 人	利用者H17: 187		
料金体系等:	基本料金1,500円/棟、大人(中学生以上)2,000円、小人(小学生)1,500円		利用者H18: 161		
施設職員(人)	常勤	1 人	嘱・パート	0 人	利用者H19: 83
	(うち市職員) 正規	0	嘱		利用者H20: 105
代替・類似施設の有無	都川交流促進施設、天狗石農村公園、旭森林研修センター、若生まなびや館			利用者H21: 150	

## II 事業コスト、事業成果 注:

単位:千円	H19	H20	H21	(収入) 施設運営に係る経費(人件費を含む)を誰が負担しているか。	建設費用(千円)	
利用料等	384	708	703	利用料等…施設利用者 指定管理料…浜田市 市補助金/委託金…浜田市 その他…国県	合計	23,234
指定管理料	0	0	0		一般財源:	0
市補助金	0	0	0		国県支出金:	11,279
市委託金	0	0	0		起債:	11,955
その他	0	0	0		その他:	0
収入合計	384	708	703		H21利用度(利用者/対象者)	0.00 回
光熱水費	93	123	100	(支出) 施設を運営するには、どのような経費(人件費を含む)がかかるのか。	H21受益者負担率 (利用料等/支出合計)	203.8 %
委託費	29	161	146			
人件費	58	98	47			
その他	3	9	52			
支出合計	183	391	345			

大規模修繕: H22~H27		改修: H22~H27	
-------------------	--	----------------	--

施設設置の効果	市民の休養の場、観光振興、都市間交流等に寄与
---------	------------------------

## III 事業評価(一次評価・担当課による自己評価)(総合評価・行政評価委員会)

必要性:	施設の設置目的や社会的ニーズが時代に合致している。 収益事業(法人税法施行令第5条1項)を主たる業務としていない。 市内に民間を含め、類似施設がない。 会館、宿泊施設、会議場、健康増進施設、総合保養施設その他これらに準ずる施設ではない。
効率性:	利用者が増加している。 収支バランスや「負担の公平性」の観点から、適切な受益者負担(利用料等)が設定されている。 1 現状の施設運営が、市民サービス・事務処理・コスト(人件費等)の点から最も効率的である。
一次評価:	存続 収支の状況を見極めながら、利用料の徴収を検討する
総合評価:	譲渡 地元自治会が主体となった利用、事業運営がされており、譲渡が妥当

# 行政評価票(施設の管理運営)

整理番号

102

施設名:	天狗石農村公園	担当課:	産業経済 旭産業課
所在地:	浜田市旭町市木2560番地1	管理形態:	指定管理者(指名) H21年度~H23年度
目的:	地域市民の保養と健康の増進、都市住民との交流ふれあいの推進を図り、地域の活性化、環境美化及び産業の振興に資する		
設置条例:	天狗石農村公園条例	自治法第244条の2第1項	建築年度: H11

## I 施設の基本的事項

事業内容:	自治会主催の交流イベント、施設の貸し出し		
施設区分:	宿泊レクリエーション施設	集会施設	
施設内容:	【構造・階】木造平屋階、【敷地面積】3,694.00㎡、【延床面積】171.00㎡、【土地所有者】市 ①和室(25.00㎡/2室)②調理実習室(77.00㎡/1室)③展示室(70.00㎡/1室)④便所(54.00㎡/1室)		
利用対象者:	市内外問わず	60,180 人	利用者H17: 2,792
料金体系等:	実習・展示室、交流室、料理研究室、介護予防拠点入浴施設:1,500円/時間。全館使用: 50,000円/48時間		利用者H18: 2,824
施設職員 (人)	常勤	0 人	利用者H19: 3,105
	嘱・パート:	0 人	利用者H20: 1,872
	(うち市職員) 正規:	0	嘱: 臨: パ:
			利用者H21: 1,861
代替・類似施設の有無	都川交流促進施設、旭森林研修センター、若生まなびや館		

## II 事業コスト、事業成果 注:

単位:千円	H19	H20	H21	(収入) 施設運営に係る経費(人件費を含む)を誰が負担しているか	建設費用(千円)	
利用料等	755	784	143	利用料等…施設利用者 指定管理料…浜田市 市補助金/委託金…浜田市 その他…国県	合計	113,060
指定管理料	400	400	380		一般財源:	50,877
市補助金	0	0	0		国県支出金:	62,183
市委託金	0	0	0		起債:	0
その他	0	0	301		その他:	0
収入合計	1,155	1,184	824		H21利用度(利用者/対象者)	0.03 回
光熱水費	583	685	598	(支出) 施設を運営するには、どのような経費(人件費を含む)がかかるのか。	H21受益者負担率 (利用料等/支出合計)	21.3 %
委託費	96	126	0			
人件費	0	0	0			
その他	94	107	74			
支出合計	773	918	672			
大規模修繕: H22~H27				改修: H22~H27		
施設設置の 効果	地域経済活性化及び都市農村交流に寄与					

## III 事業評価(一次評価・担当課による自己評価)(総合評価・行政評価委員会)

必要性:	1	施設の設置目的や社会的ニーズが時代に合致している。
	1	収益事業(法人税法施行令第5条1項)を主たる業務としていない。
		市内に民間を含め、類似施設がない。
効率性:		利用者が増加している。
	1	収支バランスや「負担の公平性」の観点から、適切な受益者負担(使用料等)が設定されている。
	1	現状の施設運営が、市民サービス・事務処理・コスト(人件費等)の点から最も効率的である。
一次評価:	<b>存続</b>	市木地区の地域活性化の継続のためにも存続
総合評価:	<b>譲渡</b>	・地元自治会による独立採算で事業運営がされており、譲渡が妥当

# 行政評価票(施設の管理運営)

整理番号

273

施設名:	若生まなびや館(交流施設)	担当課:	教育 金城教育課
所在地:	浜田市金城町波佐イ998番地5	管理形態:	指定管理者(指名) H21~H23
目的:	都市との地域間交流、地域の活性化		
設置条例:	旧若生分校校舎再活用地域間交流施 自治法第244条の2第1項	建築年度:	H14

## I 施設の基本的事項

事業内容:	自然環境体験事業の提供等		
施設区分:	宿泊レクリエーション施設		
施設内容:	【構造・階】木造 平屋階、【敷地面積】1,072.00㎡、【延床面積】133.00㎡、【土地所有者】市 ① 宿泊棟(105.24㎡/3室室)② 管理棟(18.00㎡/2室室)③ 機械室(10.00㎡/1室室)		
利用対象者:	市内外一般	60,180 人	利用者H17: 0
料金体系等:	宿泊 一泊中学生以上2,000円 小学生以下 1,500円 休憩利用 大人500円 小学生200円(4時間まで)		利用者H18: 480 利用者H19: 413
施設職員(人):	常勤 0 人 嘱・パート: 9 人 (うち市職員) 正規: 0 嘱: 0 臨: 0 パ: 0		利用者H20: 392 利用者H21: 521
代替・類似施設の有無:	都川交流促進施設、天狗石農村公園、旭森林研修センター、若生まなびや館		

## II 事業コスト、事業成果 注: その他収入は、指定管理者による体験事業収入等

単位:千円	H19	H20	H21	(収入)	建設費用(千円)
利用料等	331	474	367	施設運営に係る経費(人件費を含む)を誰が負担しているか。 利用料等…施設利用者 指定管理料…浜田市 市補助金/委託金…浜田市 その他…国県	合計 28,100
指定管理料	0	0	0		一般財源: 100
市補助金	0	0	0		国県支出金: 8,000
市委託金	0	0	0		起債: 20,000
その他	713	481	886		その他: 0
収入合計	1,044	955	1,253		H21利用率(利用者/対象者) 0.01 回
光熱水費	1,051	562	1,006	(支出) 施設を運営するには、どのような経費(人件費を含む)がかかるのか。	H21受益者負担率 (利用料等/支出合計) 32.7 %
委託費	105	105	105		
人件費	0	12	12		
その他	0	0	0		
支出合計	1,156	679	1,123		

大規模修繕: H22~H27		改修: H22~H27	
施設設置の 効果			

## III 事業評価(一次評価・担当課による自己評価)(総合評価・行政評価委員会)

必要性:	1	施設の設置目的や社会的ニーズが時代に合致している。 収益事業(法人税法施行令第5条1項)を主たる業務としていない。 市内に民間を含め、類似施設がない。 会館、宿泊施設、会議場、健康増進施設、総合保養施設その他これらに準ずる施設ではない。
効率性:	1	利用者が増加している。
	1	収支バランスや「負担の公平性」の観点から、適切な受益者負担(使用料等)が設定されている。
	1	現状の施設運営が、市民サービス・事務処理・コスト(人件費等)の点から最も効率的である。
一次評価:	存続	
総合評価:	譲渡	・地元自治会による独立採算で事業運営されており、譲渡が妥当 ・譲渡先については、農事組合法人等も含めて検討すべき。 ・譲渡に当たっては、浜田市の統一的な取扱いをルール化されたい。

# 行政評価票(施設の管理運営)

整理番号 131

施設名:	森の公民館	担当課:	産業経済 金城産業課
所在地:	浜田市金城町久佐ハ295番地13	管理形態:	指定管理者(指名) H~H
目的:	山村地域が持つ自然環境を生かした都市住民との交流、ふれあい及び都市情報の受信並びに山村情報の発信等の市民活動を推進し、山村地域の活性化と公共の福祉の増進を図る。		
設置条例:	交流研修センター条例	自治法第244条の2第1項	建築年度: H7,8

## I 施設の基本的事項

事業内容:	交流、研修、宿泊施設		
施設区分:	宿泊レクリエーション施設		
施設内容:	【構造・階】木造交流館地上2階バンガロー地上1階(ロフト有)階数地面積 368.00㎡、【延床面積】325.09㎡、【土地所有】 ①交流研修センター(242.29㎡/4室)②バンガロー(82.80㎡/2棟室)③キャンプ場炊事場(15.00㎡/1室)④林間劇場(野外ステージ)(60.70㎡/1室)		
利用対象者:	県内外の個人及び団体	60,180 人	利用者H17: 3,203
料金体系等:	①交流研修センター(宿泊:大人3,000円/人、子供2,000円/人、空調1,000円/室 他)		利用者H18: 3,115
	②バンガロー(宿泊:大人3,000円/人、小中学生:2,000円/人、会議等:2,500円/4h)		利用者H19: 3,105
施設職員(人)	常勤 0 人 嘱・パート: 2 人		利用者H20: 2,084
	(うち市職員) 正規: 0 嘱: 0 随: 0 パ: 0		利用者H21: 2,311
代替・類似施設の有無	無		

## II 事業コスト、事業成果 注:

単位:千円	H19	H20	H21	(収入)	建設費用(千円)
利用料等	1,261	974	765	施設運営に係る経費(人件費を含む)を誰が負担しているか。 利用料等…施設利用者 指定管理料…浜田市 市補助金/委託金…浜田市 その他…国県	合計 106,500
指定管理料	0	0	0		一般財源: 1,450
市補助金	0	0	0		国県支出金: 53,250
市委託金	0	0	0		起債: 51,800
その他	0	77	375		その他: 0
収入合計	1,261	1,051	1,140		H21利用度(利用者/対象者) 0.04 回
光熱水費	923	775	1,140	(支出)	H21受益者負担率 (利用料等/支出合計) 67.1 %
委託費	0	0	0	施設を運営するには、どのような経費(人件費を含む)がかかるのか。	
人件費	301	276	0		
その他	0	0	0		
支出合計	1,224	1,051	1,140		

大規模修繕: H22~H27		改修: H22~H27	
----------------	--	-------------	--

施設設置の効果	
---------	--

## III 事業評価(一次評価・担当課による自己評価)(総合評価・行政評価委員会)

必要性:	1	施設の設置目的や社会的ニーズが時代に合致している。
		収益事業(法人税法施行令第5条1項)を主たる業務としていない。
	1	市内に民間を含め、類似施設がない。
		会館、宿泊施設、会議場、健康増進施設、総合保養施設その他これらに準ずる施設ではない。
効率性:		利用者が増加している。
	1	収支バランスや「負担の公平性」の観点から、適切な受益者負担(利用料等)が設定されている。
	1	現状の施設運営が、市民サービス・事務処理・コスト(人件費等)の点から最も効率的である。
一次評価:	存続	
総合評価:	存続	・交流研修センターとして、更なる利活用が望まれる施設であり、存続が妥当 ・将来的に経営不安が見込まれる場合には、廃止を含めて検討すべき。

# 行政評価票(施設の管理運営)

整理番号

122

施設名:	美又温泉会館	担当課:	産業経済 金城産業課
所在地:	浜田市金城町追原11-乙	管理形態:	直営
目的:	美又の温泉資源を活用し、市民の保養と健康増進を図るとともに、地域産業経済の活性化を促す。		
設置条例:	美又温泉会館条例	自治法第244条の2第1項	建築年度: S48、H6大規模改修

## I 施設の基本的事項

事業内容:	公衆浴場 老人居宅生活支援事業(美又老人福祉センター)		
施設区分:	公衆浴場		
施設内容:	【構造・階】鉄筋コンクリート造地上2階階、【敷地面積】942.88㎡、【延床面積】151.95㎡、【土地所有者】市 ①浴場(20㎡/2室)②休憩室(58.5㎡/1室)		
利用対象者:	一般市民	60,180 人	利用者H17: 35,661
料金体系等:	大人250円 小中学生150円 回数券11回分2500円 小中学生1500円 定期券1800円 小中学生900円		利用者H18: 36,579
施設職員 (人)	常勤	1 人	嘱・パート: 0 人
	(うち市職員)	正規: 1	嘱: 臨: パ:
代替・類似施設の有無	あさひ荘別館		
利用者H19:			53,647
利用者H20:			55,834
利用者H21:			61,333

## II 事業コスト、事業成果 注:

単位:千円	H19	H20	H21	(収入)	建設費用(千円)	
利用料等	11,142	11,112	11,567	施設運営に係る経費(人件費を含む)を誰が負担しているか。 利用料等…施設利用者 指定管理料…浜田市 市補助金/委託金…浜田市 その他…国県	合計	37,300
指定管理料	0	0	0		一般財源:	9,900
市補助金	0	0	0		国県支出金:	0
市委託金	0	0	0		起債:	16,700
その他	0	0	0		その他:	10,700
収入合計	11,142	11,112	11,567		H21利用度(利用者/対象者)	1.02 回
光熱水費	1,380	1,392	1,452	(支出)	H21受益者負担率 (利用料等/支出合計)	114.2 %
委託費	5,202	5,202	5,146	施設を運営するには、どのような経費(人件費を含む)がかかるのか。		
人件費	235	235	235			
その他	3,786	3,775	3,292			
支出合計	10,603	10,604	10,125			
大規模修繕: H22~H27			0	改修: H22~H27		0
施設設置の効果						

## III 事業評価(一次評価・担当課による自己評価)(総合評価・行政評価委員会)

必要性:	1	施設の設置目的や社会的ニーズが時代に合致している。 収益事業(法人税法施行令第5条1項)を主たる業務としていない。 市内に民間を含め、類似施設がない。 会館、宿泊施設、会議場、健康増進施設、総合保養施設その他これらに準ずる施設ではない。
効率性:	1	利用者が増加している。
一次評価:	1	収支バランスや「負担の公平性」の観点から、適切な受益者負担(使用料等)が設定されている。
	1	現状の施設運営が、市民サービス・事務処理・コスト(人件費等)の点から最も効率的である。
一次評価:	存続	収支バランスは取れており、利用客は増加の傾向にある。 市内外から多くの利用者がおり、地域にとって大切な施設である。
総合評価:	存続	・利用客が増加しており、地域住民を中心とした入浴保養施設として公益性が認められる。

行政評価票(施設の管理運営)

整理番号

133

施設名:	美又温泉国民保養センター	担当課:	産業経済 金城産業課
所在地:	浜田市金城町追原32-1	管理形態:	指定管理者(公募) H20.4~H22.3
目的:	保養及び健康の増進、余暇の効果的な活用と健全なレクリエーション活動の推進を図る。		
設置条例:	美又温泉国民保養センター条例	自治法第244条の2第1項	建築年度: S44

I 施設の基本的事項

事業内容:	温泉、レストラン、宿泊等、観光施設		
施設区分:	宿泊レクリエーション施設		
施設内容:	【構造・階】鉄筋コンクリート造2階(一部4階)、【敷地面積】8,543.87㎡、【延床面積】4,078.85㎡、【土地所有者】市 (1)本館(2,826.09㎡/大浴場2室、休憩室8室、宴会場3室、宿泊客室8室、小浴場2室、家族風呂3室、食堂2室、売店)(2)家族保養ホーム(5棟353㎡/宿泊12室)		
利用対象者:	一般市民	60,180 人	利用者H17: 69,443
料金体系等:	宿泊7500円~ 入浴500円(こども250円)		利用者H18: 65,443
施設職員 (人)	常勤	6 人	利用者H19: 66,706
	嘱・パート:	26 人	利用者H20: 68,949
代替・類似 施設の有無	うち市職員	正規: 0	利用者H21: 88,240
	嘱:	0 随: 0 他: 0	
代替・類似 施設の有無	千疊苑、きんたの里		

II 事業コスト、事業成果 注: 指定管理者負担金 500万円/年

単位:千円	H19	H20	H21	(収入) 施設運営に係る経費(人件費を含む)を誰が負担しているか。	建設費用(千円)	
利用料等	176,172	177,589	176,004	利用料等…施設利用者 指定管理料…浜田市 市補助金/委託金…浜田市 その他…国県	合計	645,084
指定管理料	0	0	0		一般財源:	27,004
市補助金	19,699	0	0		国県支出金:	0
市委託金	0	0	0		起債:	91,200
その他	48	554	670		その他:	526,880
収入合計	195,919	178,143	176,674		H21利用度(利用者/対象者)	1.47 回
光熱水費	10,625	10,273	10,215	(支出) 施設を運営するには、どのような経費(人件費を含む)がかかるのか。	H21受益者負担率 (利用料等/支出合計)	107.4 %
委託費	0	0	0			
人件費	43,426	17,286	16,907			
その他	141,048	147,459	136,695			
支出合計	195,099	175,018	163,817			
大規模修繕: H22~H27				改修: H22~H27	空調設備工事	10,000
施設設置 の効果					空調の老朽化による冷暖房能力の低下の解消	

III 事業評価(一次評価・担当課による自己評価)(総合評価・行政評価委員会)

必要性:	1	施設の設置目的や社会的ニーズが時代に合致している。
	1	収益事業(法人税法施行令第5条1項)を主たる業務としていない。
	1	市内に民間を含め、類似施設がない。
	1	会館、宿泊施設、会議場、健康増進施設、総合保養施設その他これらに準ずる施設ではない。
効率性:	1	利用者が増加している。
	1	収支バランスや「負担の公平性」の観点から、適切な受益者負担(使用料等)が設定されている。
	1	現状の施設運営が、市民サービス・事務処理・コスト(人件費等)の点から最も効率的である。
一次評価:	存続	現在の指定管理者に変更となつてから、施設利用者は増加傾向にある。収益も上がっている。美又温泉の代表施設である。施設の老朽化が進んでおり大規模改修を含め検討する必要があると思われる。
総合評価:	存続	・民間温泉を補完する施設として、当面の間、存続が妥当 ・しかしながら、老朽化が激しく、今後の施設のあり方については、早期に抜本的な検討が必要

行政評価票(施設の管理運営)

整理番号

132

施設名:	かなぎウェスタンライディングパーク	担当課:	産業経済 金城産業課
所在地:	浜田市金城町久佐イ1390-8	管理形態:	指定管理者(指名) H21.4~H24.3
目的:	乗馬体験や安全で健康的な農畜産物の提供を通し都市住民との交流を促進することにより市のイメージアップを図るとともに、魅力ある農業農村の環境づくり、農業後継者の育成及び農業その他地場産業の振興に資する。		
設置条例:	乗馬牧場施設条例	自治法第244条の2第1項	建築年度: H6

I 施設の基本的事項

事業内容:	乗馬体験、宿泊、レストラン等、観光施設		
施設区分:	宿泊レクリエーション施設		
施設内容:	【構造・階】鉄骨造地上1階(一部建物2階)、【敷地面積】53,800.00㎡、【延床面積】3,853.04㎡、【土地所有者】市 ①C. H. (レストラン)(140.00㎡/1室)②C. H. (喫茶)(90.25㎡/1室)③C. H. (売店)(100.00㎡/1室)④研修棟(326.75㎡/6室)⑤屋外馬場(2,400㎡)⑥インドアアリーナ(1,325㎡)		
利用対象者:	一般市民	60,180 人	利用者H17: 30,299
料金体系等:	乗馬1500円~ レストラン(食べ放題)2500円 宿泊7000円~		利用者H18: 35,023
施設職員(人)	常勤	7 人	利用者H19: 38,418
	嘱・パート	0 人	利用者H20: 35,349
代替・類似施設の有無	(うち市職員) 正規	0	利用者H21: 26,398
	嘱・臨・パ		

II 事業コスト、事業成果 注:

単位:千円	H19	H20	H21	(収入) 施設運営に係る経費(人件費を含む)を誰が負担しているか	建設費用(千円)	
利用料等	63,225	67,363	59,341	利用料等…施設利用者 指定管理料…浜田市 市補助金/委託金…浜田市 その他…国県	合計	700,000
指定管理料	21,905	21,904	19,048		一般財源:	13,920
市補助金	0	0	0		国県支出金:	216,430
市委託金	0	0	0		起債:	469,650
その他	433	353	302		その他:	0
収入合計	85,563	89,620	78,691		H21利用度(利用者/対象者)	0.44 回
光熱水費	7,336	7,459	6,198	(支出) 施設を運営するには、どのような経費(人件費を含む)がかかるのか。	H21受益者負担率 (利用料等/支出合計)	75.2 %
委託費	0	0	0			
人件費	23,514	21,938	19,113			
その他	53,302	61,146	53,560			
支出合計	84,152	90,543	78,871			
大規模修繕: H22~H27				改修: H22~H27		0
施設設置の効果						

III 事業評価(一次評価・担当課による自己評価)(総合評価・行政評価委員会)

必要性:	1	施設の設置目的や社会的ニーズが時代に合致している。
	1	収益事業(法人税法施行令第5条1項)を主たる業務としていない。 市内に民間を含め、類似施設がない。 会館、宿泊施設、会議場、健康増進施設、総合保養施設その他これらに準ずる施設ではない。
効率性:		利用者が増加している。
		収支バランスや「負担の公平性」の観点から、適切な受益者負担(使用料等)が設定されている。 現状の施設運営が、市民サービス・事務処理・コスト(人件費等)の点から最も効率的である。
一次評価:	存続	乗馬体験など動物とのふれあいを通して情操教育の場を提供しており、小学生を対象とした乗馬スクールは代表的な取り組みである。ホースセラピーにも力を入れており、旭矯正施設や、桑の木園の園生等を対象に行っている。
総合評価:	廃止	・地域振興という施設意義は理解できるが、毎年度、多額の市費負担が発生しており、現状のままで存続すべきではない。この施設の運営のために設立された第三セクターについても、多額の欠損金を抱えており、早急にあり方を見直す必要がある。

# 行政評価票(施設の管理運営)

整理番号 130

施設名:	リフレパークきんたの里	担当課:	産業経済 金城産業課
所在地:	浜田市金城町七条イ980-1	管理形態:	指定管理者(指名) H19.4~H26.3
目的:	温泉入浴や安全で健康的な農畜産物の提供を通して都市住民との交流を推進することにより市のイメージアップを図るとともに、都市と農村の共生による農業農村の活性化及び農業その他地場産業の振興を図る。		
設置条例:	リフレッシュビレッジ施設条例	自治法第244条の2第1項	建築年度: H9

## I 施設の基本的事項

事業内容:	温泉、レストラン、宿泊等、観光施設		
施設区分:	宿泊レクリエーション施設		
施設内容:	【構造・階】鉄筋コンクリート造地上1階、【敷地面積】13,420.00㎡、【延床面積】1,938.73㎡、【土地所有者】市 ①管理棟(584.35㎡/食材供給室、売店)②浴場棟478.06㎡/浴場2室、露天風呂261.02㎡③宿泊棟(786.80㎡/客室13室、宴会室2室)④ふるさと交流棟(343.89㎡/交流室1室)		
利用対象者:	一般市民	60,180 人	利用者H17: 154,781
料金体系等:	宿泊9000円~ 入浴600円(こども250円)		利用者H18: 159,902
施設職員(人)	常勤	12 人	利用者H19: 159,858
	嘱・パート	19 人	利用者H20: 150,297
	(うち市職員) 正規	0	利用者H21: 151,210
	嘱	0 随	
		0 時	
		0 分	
代替・類似施設の有無	千疊苑、美又国民保養センター		

## II 事業コスト、事業成果 注: 指定管理者負担金 800万円/年額(H23~)

単位:千円	H19	H20	H21	(収入) 施設運営に係る経費(人件費を含む)を誰が負担しているか	建設費用(千円)	
利用料等	338,614	316,083	284,892	利用料等…施設利用者 指定管理料…浜田市 市補助金/委託金…浜田市 その他…国県	合計	804,154
指定管理料	0	0	0		一般財源:	0
市補助金	0	0	0		国県支出金:	251,000
市委託金	0	0	0		起債:	443,900
その他	1,712	833	11,850		その他:	109,254
収入合計	340,326	316,916	296,742		H21利用率(利用者/対象者)	2.51 回
光熱水費	21,834	22,037	20,045	(支出) 施設を運営するには、どのような経費(人件費を含む)がかかるのか。	H21受益者負担率 (利用料等/支出合計)	101.4 %
委託費	0	0	0			
人件費	99,457	98,734	99,682			
その他	218,789	225,297	161,313			
支出合計	340,080	346,068	281,040			
大規模修繕: H22~H27				改修: H22~H27		
施設設置の効果						

## III 事業評価(一次評価・担当課による自己評価)(総合評価・行政評価委員会)

必要性:	1	施設の設置目的や社会的ニーズが時代に合致している。 収益事業(法人税法施行令第5条1項)を主たる業務としていない。 市内に民間を含め、類似施設がない。 会館、宿泊施設、会議場、健康増進施設、総合保養施設その他これらに準ずる施設ではない。
効率性:	1	利用者が増加している。 収支バランスや「負担の公平性」の観点から、適切な受益者負担(使用料等)が設定されている。
一次評価:	1	現状の施設運営が、市民サービス・事務処理・コスト(人件費等)の点から最も効率的である。
総合評価:	存続	民間経営となり平成21年度は赤字に転換した。 今後更なる経営の安定化を目指すため利用者数の増加を目指す。
	存続	・安定した集客状況等から当面の間は存続とするが、更なる経営努力に努める必要がある。 ・しかしながら、本来公共が担うべき施設ではなく、将来的な譲渡を含めた検討が必要である。